

家庭科「家庭基礎」学習指導案

授業者 浅沼和子
 対象生徒 1年D組 34名
 日時 12月11日(水) 第5校時
 場所 家庭科室
 教科書 東京書籍
 「家庭基礎～自立・共生・創造」

- 1 単元名 第8章 経済生活を営む 6) これからの消費生活と環境
- 2 目標 近年の消費者問題や消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者として適切な意思決定に基づいて行動できるようにする。
- 3 生徒と単元

男子17名、女子17名、計34名の学級である。学習で設定した生活課題に関して、自分の生活体験から積極的に意見や考えを述べ合うこともあり、家庭科に対する興味・関心が感じられる。

本単元は、平成30年6月の民法の改正により令和3年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられることを踏まえて、新学習指導要領においても一層指導の充実を図ることが必要とされている。特に、自立した消費者の育成、若年者の消費者被害の防止・救済に関する題材は、学びが定着するよう他の単元との関連性も図りながら繰り返し取り扱う重要性を感じている。

本時は、自立した消費者を目指し、自分の身近な生活行動がどのように環境問題と関連付いているかを協働的に思考・判断・表現させることをねらいとする。コンビニエンスストアでの買い物に関する学習課題を設定し、発問や教材、学習形態等を工夫する中で段階的に生徒を課題解決へ導く。この単元の学びを通して、消費経済や持続可能な消費生活等に発展的な探究心をもつとともに、日常から生活課題を見出しその解決に向けて主体的に取り組む実践的態度を養いたい。
- 4 指導と評価の計画 (10時間)

次	学習内容 (時数)	評価規準			
		A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 技能	D 知識・理解
1	4) 現代の消費社会 (1)	消費生活に関する学習に必要感をもっている。	消費者トラブルを招かないSNSの安全な利用について考えたり、まとめたりすることができる。		
2	1) 職業生活を設計する 2) 計画的に使う 3) 国民経済・国際経済と家庭の経済生活 4) 現代の消費社会 5) 消費者の権利と責任 (5)	生涯を見通した家計管理の在り方について考えようとしている。 消費者の権利や消費者支援の制度に関心をもっている。	今日の家計の特徴について、資料を活用して考え、まとめたり、発表したりしている。 消費者問題の被害の防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりしている。	家庭の経済生活の諸課題についての具体的な事例を収集・整理することができる。 財・サービスの選択に際し、生活情報を収集・整理することができる。	家計と経済社会との関わりを理解している。 生涯を見通した経済計画や消費行動における意思決定の重要性を理解している。
3	6) これからの消費生活と環境 (本時 3 / 4)	自立した消費者として行動しようとしている。	身近な消費行動と持続可能な社会との関連について、考えたり、まとめたりすることができる。	持続可能な開発(目標)の課題についての具体的な情報を収集・整理することができる。	自立した消費行動のための支援について理解している。

(参考：評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 文部科学省 国立教育政策研究所)

5 本時の計画

(1) ねらい [評価の観点]

- ・身近な消費行動と持続可能な社会との関連について、考えたり、まとめたりすることができる。
[B：思考・判断・表現]
- ・持続可能な消費生活への意欲を高めることができる。
[A：関心・意欲・態度]

(2) 展開

段階 (分)	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (8)	<p>1 前時の学習の概要を確認する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>学習課題(主発問)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">コンビニエンスストアでのペットボトル飲料の購入には、 どのような「地球規模の」課題が潜んでいるだろうか</p> <p>3 学習の流れを知る。</p>	<p>・生徒が学習課題を身近なこととして捉えるよう、生徒に実施したコンビニエンスストア利用等に関するアンケートの結果を示す。</p> <p>・生徒が学習の見通しをもてるよう、本時の学習の流れを示す。</p>	
展開 (35)	<p>4 三つの資料内容ごとに相応しいタイトルを付け、キーワードを用いてどのように説明するかを確認し合う。 【資料別グループ】</p> <p>5 資料から気付いた課題を相互に説明し合い、それらと持続可能な社会との関連を考え、まとめる。 【ホーム班】</p> <p>6 代表の班は5の内容についてを発表する。 【全体】</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">発問 持続可能な社会とのつながりから、これからの消費生活では どのようなことを意識したり、実行したりしたらよいのだろうか</p> <p>7 CSRの取り組み例を知る。</p>	<p>・ジグソー学習</p> <p>・事前に資料別グループを構成しておく。</p> <p>・前時までに決めていたキーワードを確認するよう伝える。</p> <p>・生徒が考えをまとめやすいよう、持続可能な社会の「要素」を図示する。</p> <p>・多様な考えを共有できるよう、他の班に追加内容の発表を促す。</p> <p>・スライド</p>	<p>身近な消費行動と持続可能な社会との関連について、考えたり、まとめたりすることができる。</p> <p>(B) ワークシート 観察</p>
まとめ (7)	<p>8 持続可能な消費生活を送るにあたって意識することについて、自分の考えをまとめる。</p>	<p>・ワークシート(自己評価)</p> <p>・SDGsについて簡単に触れ、次時の学習の予告をする。</p>	<p>持続可能な消費生活への意欲を高めることができる。</p> <p>(A) ワークシート</p>

* 「評価の観点」 A：関心・意欲・態度 B：思考・判断・表現 C：技能 D：知識・理解